

## ◆ 特殊詐欺対策の強化

Q.(大野) コロナ禍により自治会町内会の防犯活動が思うように行えないなか、高齢の方が一人で在宅している時間が増え、特殊詐欺の被害が増大することを懸念している。神奈川県が創設した『市町村が迷惑電話防止機能を有する機器を導入する際の補助制度』の活用も必要。

A.(副市長) 今後も県警察や防犯協会と連携した対策を続けるとともに、県の補助制度の活用も含め、効果的な取組を検討してゆく。

## ◆ 障がいのある方々の働く場の確保

Q.(大野) 障がいのあるお子さんたちの卒業後の日中の居場所が足りないことが問題となっている。居場所のひとつに、働く場がある。働く場の確保に際しては、就労機会の数だけではなく、障がいの特性に合わせた就労環境の整備や合理的配慮が必要だ。本市の取組状況を問う。また、8月31日までに県に報告することになっていた今年6月1日現在の障がい者雇用率の集計が未完了で県に未報告とのことで、本日9月8日、質疑できない。この状況に対して（当局が）事も無げな様子であることを、とても悔しく悲しく感じる。障がいのある方々の存在を、障がいのある方々が働くことを、真剣に考えていただきたい。取組姿勢にはそれが見られない。いつ公表するのか。今定例会中の公表を求める。

A.(市長) 雇用率は数字が確定次第、速やかに公表する。今後も障がいのある方がいきいきと働き続けられるような働く場の確保に努める。

このほかにも  
様々なテーマで質疑しました。

質疑の動画や議事録は  
市会HPで  
ご確認いただけます。

市政へのご意見やご要望を  
お聞かせください。



立憲民主党

横浜市議員(港北区)

# 大野 トモイ

- ◆高知県四万十市生まれ
- ◆ICU(国際基督教大学)卒業(TOEIC895)
- ◆学生時代から民主党青年局の活動に参加
- ◆2005年衆院選(惜敗率72.5%)
- ◆2009年衆院選(同87.0%) 民主党衆議院議員公設第一秘書を経て、都内外資系企業人事部管理職を経験したのち、2019年より現職
- ◆2020年は建築・都市整備・道路委員会に所属

市政報告  
一般質問



## カジノ推進ではなく、コロナ対策を

新型コロナウイルス感染症が暮らしや経済に与えた甚大な影響を鑑み、IRカジノ予算をはじめとする不要不急の予算を、私たち市民の暮らしの安心・安全のために振り向けてゆくことを、引き続き求めてまいります。

## ◆初の本会議登壇(一般質問)

9/8、初めて本会議登壇しました。私の所属会派は議員が20人いるので、一般質問の順番がまわってくるのは、4年の任期中に1度か2度。とても貴重な機会です。**質疑内容の抜粋を次ページ以降に掲載**しました。ぜひご覧ください。



## ◆カジノ住民投票の署名活動、始まる

9/4から、カジノの是非を問う住民投票を求める署名活動が始まりました。これまで大野トモイに署名活動参加のご意思をお伝えくださった方に、随時、署名用紙をお届けしています。万が一、届かない場合は、誠に恐れ入りますが、大野トモイ事務所までご連絡くださいませ。ご署名くださる方からのご連絡もお待ちしております。(TEL:045-298-8475 FAX:045-330-8178)